

ミクロ経済学Ⅰ

松島齊

A1 セメスター (10月3日～11月21日、11月22日)

1限 (105分) 2限 (105分)

計 16回

ホームページ : <https://www.econexp.org/hitoshi/>

スライド : <https://www.econexp.org/hitoshi/lectures22.htm>

- ミクロ経済学 A1 と A2 を両方履修すること
- A1 と A2 の試験はともに 1 月末試験期間中に、別々に行う
- A1 と A2 とともに同じ評価をつけることになる（例年と同様）
- 各章の最後に宿題を出す。宿題の提出回数（不適切な提出物を除く）は成績の評価点の 20% になる。
- 宿題のダウンロードおよび提出は「ITC-LMS」にアクセス！
- 出題日から 1 週間以内に提出すること

A 1 : 初級ミクロ経済学 (予定)

- 第 1 章 : 経済学の基本原理
- 第 2 章 : 需要と供給の法則
- 第 3 章 : 余剰分析
- 第 4 章 : 外部性と公共財
- 第 5 章 : 企業行動と競争市場
- 第 6 章 : 不完全競争
- 第 7 章 : 労働市場の経済学
- 第 8 章 : 消費者行動の理論
- 第 9 章 : 一般均衡とパレート効率性

A2 : 中級ミクロ経済学 (予定)

第10章 : 意思決定の理論 (1)

第11章 : 意思決定の理論 (2)

第12章 : ゲーム理論と寡占 (1)

第13章 : ゲーム理論と寡占 (2)

第14章 : 情報の経済学

第15章 : 社会的選択理論

第16章 : マーケットデザイン、メカニズムデザイン

初級ミクロ経済学

初級ミクロ経済学の準教科書：どちらかを読むこと

(M) マンキュー 「経済学ミクロ編 (第4版)」 (東洋経済)

World Standard !

(A) アセモグルその他 「ミクロ経済学」 (東京経済)

新しい教科書

講義は主に M の内容を解説する

副読本：

松島斉

「ゲーム理論はアート」 (日本評論社)

ティロール

「良い社会のための経済学」 (日本経済新聞社)

宇沢弘文

「社会的共通資本」 岩波新書

第0章：イントロダクション：経済学を学ぼう

- 暮らしのことがよく理解できる
- よい選択（意思決定）について真剣に考えることができる
- 社会の問題に興味をもつようになる
- よい政策とはなにかについて理解できる

「経済学的に考える」ことを学ぼう：3つのポイント

- Motivation :** 経済学的に意味のある問いとはどのようなものか
- Approach :** 問いに答えるためにはどのような方法で分析したらいいか
- Contribution :** どのような答えに経済学的な価値があるのか

経済学とは？：「選択の科学」である

経済主体： 個人（消費者、労働者）
企業（生産者、会社組織、事業者）
政府（政策当局、自治体）
教員、公務員、**NPO**

選択肢： 財・サービス
資源、生産要素
公共財、コモンズ
教育
経済活動、社会活動

希少性 (Scarcity)

資源や財・サービスには限りがある。どのように配分されるか

事実解明的理解 (positive) : 現実はどうのようになっているか?

規範的理解 (normative) : 望ましい配分はどのようなものか
どのようにすれば達成できるか
現実には望ましい配分か

配分の良し悪しを評価する二つの視点：
「効率性」と「公平性」

効率性 (Efficiency)

希少な資源や財・サービスから
社会が最大限その便益を達成できているか

生産活動に無駄はないか
欲しがっている人に財が配分されているか

余剰概念、パレート最適性 (効率性)

公平性 (Fairness)

希少な資源や財・サービスが
社会の構成員にバランスよく配分されているか

- 経済学は、効率性の観点からは優れた政策を提供している。
- 公平性については、経済学の貢献はより限定的である。
- 公平性は政治的決着にゆだねられる。しかし優れた政策はあまり提供されていない。

制度設計の経済学

資源・財・サービスが配分される仕組み（メカニズム）を理解する

中央集権的決定メカニズム：

政府や権力者が代表して配分を決定する
課税、公共財
政治による決定

分権的決定メカニズム：

個人や企業が個別に決定
相互依存
私的財
市場による決定：「見えざる手」

自主統治（Self-Governance）： 地域、コミュニティー
コモンズ（共有地）の自主管理

分権的決定メカニズム VS 中央集権的決定メカニズム
資本主義（自由放任） VS 社会主義（計画経済）

現代は高度な資本主義社会
市場のみならず政府の役割も大きい（市場の失敗）

さらに高度な（Beyond）資本主義社会へ

持続可能性： 環境問題（気候変動）
サーキュラーエコノミー
未来世代との社会契約
利己的動機（Self-Interest）と向社会的動機（Pro-Social Motives）
SDGs（持続可能な開発目標）
ESG（Environment, Social, Governance）
コロナ後の社会
.....

第0章終わり

宿題なし